

CELSIUS

CELSIUS 440/640/650
Windows NT® 4.0 モデル
Windows® 2000 モデル

はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では次の項目を説明しています。

梱包物の確認	3
ご購入後の操作	
接続	4
Windows NT のセットアップ	4
Windows 2000 のセットアップ	6
CELSIUS マニュアルの参照	7
クイック・リファレンス	
電源の切りかた	8
プログラムが動かなくなってしまったときは	8
BIOS をご購入時の設定に戻すには	8
リカバリ方法 (Windows NT の場合)	8
リカバリ方法 (Windows 2000 の場合)	10
BIOS メッセージ	10
仕様	
本体仕様	11
ビデオカード仕様	12
拡張スロット使用状況	12

本書は、本ワークステーションをお使いになる前に必要な、接続と準備について説明しています。なお、本書に記載されていない内容は、『ハードウェアガイド』および『ソフトウェアガイド』に記載されています。これらは「マニュアル CD-ROM」内の「CELSIUS マニュアル」(Manual.pdf) からご覧になれます。

安全にお使いいただくために

本ワークステーションをお使いになる前に、添付のマニュアル『オペレーションガイド』の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本ワークステーションをお使いください。

使用許諾契約書

このたびは、富士通株式会社（以下弊社といいます）製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

弊社では、本パーソナルコンピュータ（以下本ワークステーションといいます）にインストール、もしくは添付されているソフトウェアのうち、弊社 FM インフォメーションサービスが取り扱うソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを条件とさせていただいております。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で本契約に同意していただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。

ただし、本ソフトウェアのうちの特定のソフトウェアに関する「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は本ソフトウェアを、日本国内において同時に 1 台のコンピュータでのみ使用できます。

なお、お客様は本ワークステーションのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属します。

2 バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 式の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合にはお客様はマニュアル等に記載されている要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。

ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号「(1)」によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、お客様は本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェアを第三者へ譲渡する場合には、お客様が保有する本ソフトウェアの複製物のすべてを破棄するか、本ソフトウェアとともに第三者に譲渡してください。

6 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7 アフターサービス（保証の範囲）

(1) 弊社は、お客様が「ユーザー登録カード」を弊社宛にご返送いただいた場合に限り、本ワークステーションをご購入いただいた日から 1 年間、本ソフトウェアの改訂版（レベルアップ）に関する情報等をお知らせいたします。

(2) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して、弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合は、本ワークステーションをご購入いただいた日から 1 ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記 (1)、(2) および (3) の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

(4) 弊社は、前各号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

梱包物の確認

次の品物がそろっているかご確認ください。

万一、欠品などがございましたら、担当営業員または担当保守員までご連絡ください。

■ Windows NT® 4.0 モデル

ハードウェア

- 本体
- キーボード
- マウス
- 電源ケーブル (本体用、変換プラグ付き)

- 電源ケーブル (ディスプレイ用)

- フロントパネルキー×2

- リストストラップ

ソフトウェア

- 封筒 (保証書およびユーザー登録カード入り)

- Microsoft® Windows NT® Service Pack6a (CD-ROM) × 2
(1 ケースに収納)

- Microsoft® IME98 CD-ROM

- ハードウェアガイド

- はじめにお読みください (本紙)

- @nifty 入会マニュアル

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク (フロッピーディスク)

- リカバリ CD-ROM

- Microsoft® Windows NT® Workstationファーストステップガイド

- ドライバーズ CD

- マニュアル CD-ROM

■ Windows® 2000 モデル

ハードウェア

- 本体
- キーボード
- マウス
- 電源ケーブル (本体用、変換プラグ付き)
- 電源ケーブル (ディスプレイ用)

- フロントパネルキー×2

- リストストラップ

ソフトウェア

- 封筒 (保証書およびユーザー登録カード入り)

- ハードウェアガイド

- はじめにお読みください (本紙)

- @nifty 入会マニュアル

- リカバリ CD-ROM

- Microsoft® Windows® 2000 Professional クイックスタート

- ドライバーズ CD

- マニュアル CD-ROM

■ カスタムメイドオプション

- CPU モジュール追加機構

- CPU モジュール (本体に搭載済)

- RAM モジュール交換機構/追加機構

- RAM モジュール (本体に搭載済)

- 基本グラフィックス交換機構

- ビデオカード (本体に搭載済)

- 基本ハードディスクユニット交換機構

- ハードディスクユニット (本体に搭載済)

- SCSI カード (本体に搭載済)

- WIDE ケーブル×1 (本体に添付済)

- Narrow ケーブル×1

- LED ケーブル×1 (本体に添付済)

- ユーザーズガイド

- インストールガイド

- SCSI カード追加機構

- ハードディスクユニット (本体に搭載済)

- SCSI カード (本体に搭載済)

- WIDE ケーブル×1

- Narrow ケーブル×1

- LED ケーブル×1

- ユーザーズガイド

- インストールガイド

- 基本 CD-ROM ドライブ交換機構— DVD

- DVD-ROM ドライブユニット (本体に搭載済)

- MO ディスク追加機構

- 光磁気ディスクユニット (本体に搭載済)

- 取扱説明書

- DAT 追加機構

- DAT ユニット (本体に搭載済)

- 取扱説明書

- 基本 FDD 交換機構— LS120

- スーパーディスクユニット (本体に搭載済)

- 取扱説明書

○ POINT

▶ 上記とは別に、注意書きの紙が入っている場合もあります。

▶ フロントパネルキーはワークステーション本体背面に取り付けてあります。

ご購入後の操作

ご購入後、次の操作を行い、本製品を使用できる状態にしてください。

接続

本体とディスプレイ／キーボード／マウス／LAN ケーブルを接続します。

接続方法については、CELSIUS 440/640/650 ハードウェアガイドを参照してください。

ご購入のモデルの OS をセットアップします。

Windows NT のセットアップ

電源を入れて Windows NT のセットアップを始めます。

■留意事項

- Windows NT セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。
正しくセットアップされないことがあります。
- Windows NT セットアップを行う前にメモリを増設しないでください。正しくセットアップされないことがあります。
- アプリケーションおよびドライバなどのインストール
アプリケーションおよびドライバは、あらかじめすべてのアプリケーションを終了させた状態でインストールしてください。

■セットアップ方法

- 1 ディスプレイの電源スイッチを押します。**
この時点では、画面に何も表示されません。
- 2 本体の電源スイッチを押します。**
ディスプレイと本体の電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると、「Windows NT Workstation セットアップ」ダイアログボックスが表示され、セットアップが始まります。
- 3 「次へ」をクリックします。**
「使用許諾契約」が表示されます。
「使用許諾契約」とは、本ワークステーションにあらかじめインストールされている Windows NT を使用するうえでの契約を記述したものです。
- 4 「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。**

POINT

- ▶ 「同意しません」をクリックし、「次へ」をクリックすると、「…使用許諾契約に同意しないと指定しました。」と表示されます。「いいえ」をクリックすると「使用許諾契約」のダイアログボックスに戻ります。「はい」をクリックすると「致命的なエラー」ダイアログボックスが表示されるので「OK」をクリックしてください。次に表示されるダイアログボックスで「閉じる」をクリックすると、本ワークステーションが再起動します。

「名前と組織名」のダイアログボックスが表示されます。

- 5 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。**
組織名は省略できます。
コンピュータ名を入力するダイアログボックスが表示されます。
- 6 コンピュータ名を入力し、「次へ」をクリックします。**
「管理者アカウント」ダイアログボックスが表示されません。
- 7 「パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。**

POINT

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- ▶ 「パスワード」を入力して「次へ」をクリックした場合、「戻る」をクリックして再びパスワードの設定画面に戻ることはできません。

「セットアップは終了しました」と表示されます。

- 8 「完了」をクリックします。**
本ワークステーションが再起動し、「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されます。
- 9 【Enter】キーを押します。**
しばらくすると、「ログオンの開始」ダイアログボックスが表示されます。
- 10 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】キーを押します。**
「ログオン情報」ダイアログボックスが表示されます。
- 11 手順 7 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。**
「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。
- 12 「閉じる」をクリックします。**
- 13 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。**
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
- 14 「コンピュータを再起動する」をクリックし、「はい」をクリックします。**
本ワークステーションが再起動します。

15 ログオン後、「はじめよう！ CELSIUS」アイコンをダブルクリックします。

「はじめよう！ CELSIUS」ダイアログボックスが表示されます。

16 「OK」をクリックします。

自動設定が行われ、本ワークステーションが再起動します。

重要

▶ 再起動されるまで、キーボードやマウスを操作しないでください。

17 ログオン後、再度「はじめよう！ CELSIUS」ダイアログボックスが表示されますので「OK」をクリックします。ディスプレイアダプタが自動認識され、設定が自動的にされます。設定後、本ワークステーションが再起動します。

重要

▶ 搭載しているディスプレイアダプタが、「Millennium G400」または「Millennium G400 Dual Head」の場合は、設定は自動的にされず、「Matrox PowerDesk セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。これ以降は、メッセージに従ってインストールしてください。

▶ 再起動されるまで、キーボードやマウスを操作しないでください。

18 再起動後、管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

「無効なディスプレイの設定」が表示された場合は、「OK」をクリックします。

19 「コントロールパネル」の「画面」をダブルクリックし、「設定」タブでご希望の解像度／発色数を設定してください。

「はじめよう！ CELSIUS」アイコンが消えたら、設定は終了です。

これで Windows NT セットアップが完了しました。

■リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー

本ワークステーションに添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」には、リカバリ（→ P.8）に必要なファイルが含まれています。このディスクは、リカバリ時だけでなく、MS-DOS から実行するユーティリティの起動ディスクとしても、使用します。

次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク
- フロッピーディスクのラベル 1 枚（購入してください）
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）

■コピー方法

「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）を使用してください。

1 添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

3 「3.5 インチ FD (A:)」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。

「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。

4 コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD (A:)」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。

メッセージに従ってコピーを作成してください。

5 コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。

6 コピーしたバックアップディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼ります。

ラベルには「作業用」と記入し、お使いのワークステーションの機種名を記入しておくことをお勧めします。

■ドライバのバックアップ

本ワークステーションに添付の「ドライバズ CD」から、「バックアップディスク」を作成します。

「バックアップディスク」は、ドライバのインストールに使用します。

バックアップの内容

ソフトウェア 名称	フロッピー ディスクの枚数	備考
NT4.0 ドライバ 440	1	[C440]
NT4.0 ドライバ 1CPU/640	1	[C640]
NT4.0 ドライバ 2CPU/640	1	[C640]
NT4.0 ドライバ 1CPU/650	1	[C650]
NT4.0 ドライバ 2CPU/650	1	[C650]
82559 LAN ドライバ	1	全機種
3COM LAN ドライバ	3	全機種
7800 SCSI ドライバ	1	全機種
160 SCSI ドライバ	1	[C640] [C650]

次のものを用意してください。

- 「ドライバズ CD」（添付されています）
- 1.44MB フォーマット済み 2HD フロッピーディスク（表を確認し、必要な枚数を用意してください）

バックアップ方法

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:¥fdbackup
「Fdbakup」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 用意したフロッピーディスクをセットします。
- 5 バックアップしないソフトウェアのチェックを外してから、「バックアップ開始」をクリックします。
- 6 「続行」をクリックします。
このあとは、メッセージに従って操作してください。

Windows 2000 のセットアップ

電源を入れて Windows 2000 のセットアップを始めます。

■留意事項

- Windows 2000 セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。
Windows 2000 セットアップを行う前にオプションを取り付けると、Windows 2000 セットアップが正常に行われな場合があります。
- セットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示される場合があります。
- Windows 2000 セットアップ時に音が鳴るので、スピーカーを接続している場合はボリュームを調整してください。
- Windows 2000 セットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows 2000 セットアップが正常に行われな場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されたから、マウスで操作してください。
- 電源を入れたあと、画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください。

■セットアップ方法

- 1 ディスプレイの電源スイッチを押します。
この時点では、画面に何も表示されません。
- 2 本体の電源スイッチを押します。
ディスプレイと本体の電源ランプが緑色に点灯します。しばらくすると、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。

- 3 「次へ」をクリックします。
「ライセンス契約」が表示されます。
「使用許諾契約書」は、本ワークステーションにあらかじめインストールされている Windows 2000 を使用するうえでの契約を記述したものです。
- 4 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

○POINT

- ▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックしたあと、メッセージに従って操作してください。
「ソフトウェアの個人用設定」が表示されます。
- 5 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。
「コンピュータ名と Administrator のパスワード」が表示されます。
- 6 「コンピュータ名」、「Administrator のパスワード」と「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。
「ネットワークの設定」が表示されます。
ネットワークの設定については、セットアップ完了後にネットワーク管理者に確認し、ご使用の環境に合わせて設定してください（→P.7）。
- 7 「標準設定」をクリックし、「次へ」をクリックします。

○POINT

- ▶ 「標準設定」では、次のネットワークコンポーネントがインストールされます。
 - ・ Microsoft ネットワーク用クライアント
 - ・ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
 - ・ インターネットプロトコル (TCP/IP)「ワークグループまたはドメイン名」が表示されます。
- 8 「このコンピュータはネットワーク上にはないか、ドメインのないネットワークに接続している」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「Windows 2000 セットアップウィザードの完了」が表示されます。
- 9 「完了」をクリックします。
- 10 「再起動する」をクリックするか、または 15 秒待つと本ワークステーションが再起動します。

🔧重要

- ▶ 「ネットワーク識別ウィザード」ダイアログボックスが表示されたとき、「戻る」をクリックしないでください。
再設定が必要な場合は、設定終了後に該当箇所を修正してください。
「ネットワーク識別ウィザードの開始」が表示されます。
- 11 「次へ」をクリックします。
「このコンピュータのユーザー」が表示されます。

12「ユーザーはこのコンピュータを ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

▶ 「ユーザーはこのコンピュータを ...」を選択した場合は、Windows 2000 起動時に「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示され、「常に次のユーザーがこのコンピュータに ...」を選択した場合は、「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されずに自動的にログオンされます。

「ネットワーク識別ウィザードの終了」が表示されます。

13「完了」をクリックします。

「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されます。

14手順6で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「Windows 2000 の紹介」ダイアログボックスが表示されます。

POINT

▶ 本ワークステーションでは、「Windows 2000 の紹介」ダイアログボックスにある「Windows について」をクリックすると、「Windows CD が見つかりません」と表示されます。この場合は「キャンセル」をクリックしたあと、「ディスクカバーツアーが見つかりません」ダイアログボックスで「c:\support\tdiscover」と入力し、「OK」をクリックしてください。

これで、Windows 2000 セットアップが完了しました。

■ ネットワークの設定 (Windows 2000)

Windows 2000 セットアップ後にお使いのネットワーク環境に合わせて、以降の手順に従って設定を行ってください。

LAN ケーブルの接続

POINT

▶ LAN ケーブルは、別売のカテゴリ 5 以上のツイストペアケーブルをご購入のうえ、お使いください。

1 LAN ケーブルを接続します。

別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタをワークステーション本体背面の LAN コネクタに接続します。

2 LAN ケーブルをネットワークに接続します。

別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタを、ハブユニットなどのネットワークのコネクタに接続します。

ネットワークコンポーネントのインストール

POINT

▶ 使用するネットワークコンポーネントについては、ネットワーク管理者に確認してください。

1 「マイネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。

2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「インストール」をクリックします。

「ネットワークコンポーネントの種類の選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 設定するネットワークコンポーネントを選択し、「追加」をクリックします。

以降、メッセージに従って設定を行います。

ネットワーク ID の設定

POINT

▶ 設定するネットワーク ID (コンピュータ名やドメイン名など) については、ネットワーク管理者に確認してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「ネットワーク ID」タブをクリックします。

3 「ネットワーク ID」または「プロパティ」をクリックし、コンピュータ名やユーザー名の設定を行います。

CELSIUS マニュアルの参照

本書に記述されていない内容は、「マニュアル CD-ROM」内の「CELSIUS マニュアル」(Manual.pdf) からご覧になれます。必要に応じて次の方法でご覧ください。

POINT

▶ オプション機器の取り付けなど、ワークステーション本体の電源を切ってから行う操作の場合は、事前に該当するページを印刷するか、他の装置で参照してください。

▶ 「CELSIUS マニュアル」をハードディスクにコピーして使用する場合は、「マニュアル CD-ROM」内の「Manual.pdf」と「Manual」フォルダを同一フォルダにコピーしてください。

- 1 「マニュアル CD-ROM」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」の順にクリックします。
「エクスプローラ」が起動します。
- 3 CD 内の「Manual.pdf」をダブルクリックします。
Acrobat Reader 4.0 が起動し、目次が表示されます。
- 4 参照したいマニュアルの名称をクリックします。

クイック・リファレンス

次の情報は必要に応じて参照してください。なお、「CELSIUS マニュアル」にも同じ内容が含まれています。

電源の切りかた

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「コンピュータをシャットダウンする」または「シャットダウン」をクリックし、「はい」をクリックします。
Windows NT/Windows 2000 が終了し、本ワークステーションの電源が切れます。

プログラムが動かなくなってしまったときは

プログラムが動かなくなってしまったときは、次の対処をしてください。

- 1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「Windows NT のセキュリティ」または「Windows のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「タスクマネージャ」をクリックします。
「Windows NT タスクマネージャ」または「Windows タスクマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 動かなくなったプログラムをクリックし、「タスクの終了」をクリックします。
プログラムが強制終了されます。
- 4 「Windows NT タスクマネージャ」または「Windows タスクマネージャ」ダイアログボックスを閉じます。

BIOS をご購入時の設定に戻すには

■ [C650] の場合

- 1 電源を入れ、「CELSIUS」ロゴが表示されたら、【Tab】キーを 1 回押して「Enter Setup」を選択し、【Enter】キーを押します。
BIOS セットアップメニューが表示されます。
- 2 「Save/Exit」→「Load Factory Settings」をクリックします。
- 3 「Save New Settings」をクリックします。
- 4 「Exit」をクリックします。
本ワークステーションが再起動します。

■ [C640] [C440] の場合

- 1 電源を入れ、「CELSIUS」ロゴが表示されたら、【F2】キーを押します。
BIOS セットアップメニューが表示されます。
- 2 「Exit」→「Get Default Values」を選択し、【Enter】キーを押します。
購入時の状態に戻すかどうかのメッセージが表示されません。
- 3 【Enter】キーを押します。
- 4 「Save Changes & Exit」を選択し、【Enter】キーを押します。
変更した内容を保存して終了するかどうかのメッセージが表示されます。
- 5 【Enter】キーを押します。
本ワークステーションが再起動します。

リカバリ方法 (Windows NT の場合)

Windows NT が起動しないなどの問題が発生した場合は、「リカバリ」を実行しハードディスクの内容をご購入時の状態に戻してください。

■ 留意事項

- 次のドライバ、ソフトウェアについては、ご購入時の状態には戻りません。リカバリ後、個別にインストールする必要があります。
 - ・ SCSI ドライバ (IDE モデルをご購入時にカスタムメイドオプションでご使用の場合)
 - ・ 光磁気ディスクドライバ
 - ・ DAT ドライバ
- リカバリを行うと C ドライブがフォーマットされ、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

- リカバリはCドライブ以外のドライブをフォーマットしません。ただし、以下の状態のハードディスクに対してリカバリを実行すると、2GBのFAT領域を新たに作成するため、ハードディスクのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
 - ・ Cドライブの領域が2GBを超えているハードディスク
 - ・ CドライブがFAT16やNTFS以外のファイルシステムに設定されているハードディスク
- リカバリを行うと、CドライブはFATに設定されます。NTFSに変換していた場合は、リカバリ後再度変換してください(→『ソフトウェアガイド』参照)。
- オプションを取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。

■リカバリ方法

次のものを用意してください。

- コピーした「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」(→ P.5)
- 「リカバリ CD-ROM」

ここでのリカバリ方法は、ハードディスクが2GB未満の区画の場合です。2GBを超える区画にリカバリを行う場合は「2GBを超える区画にリカバリを行う場合」(→ P.9)の手順を行ってください。

1 BIOSの設定をご購入時の設定に戻します(→ P.8)。

BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

2 「リカバリCD-ROM起動ディスク」を書き込み可能な状態にして、セットします。

3 本ワークステーションを再起動します。

「続けるにはどれかキーを押してください...」と表示されます。

○POINT

▶ すでに「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」から起動したことがある場合は、上記メッセージは表示されません。手順5に進んでください。

4 何かキーを押します。

本ワークステーションが再起動し、「Windows NT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

5 【1】キーを押します。

リカバリに関するメッセージが表示されます。

6 メッセージをよく読み、何かキーを押します。

「ハードディスクの内容を全て初期化します。」と表示されます。

7 【1】キーを押します。

ハードディスクがフォーマットされたあと、「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM 1 枚目」をセットし、しばらくしたら「Y」キーを押してください。」と表示されます。

8 以下のご購入されたモデルごとに「リカバリ CD-ROM」をセットし、しばらくしたら【Y】キーを押します。

機種名		リカバリ CD-ROM 名称
CELSIUS 440	IDE モデル	CELSIUS 440
	U2W-SCSI モデル	CELSIUS 440 (U2W-SCSI 用)
CELSIUS 640	IDE モデル	CELSIUS 640
	U2W-SCSI モデル	CELSIUS 640 (U2W-SCSI 用)
	U160-SCSI モデル	CELSIUS 640 (U160W-SCSI 用)
CELSIUS 650	IDE モデル	CELSIUS 650
	U2W-SCSI モデル	CELSIUS 650 (U2W-SCSI 用)
	U160-SCSI モデル	CELSIUS 650 (U160W-SCSI 用)

ファイルのコピーが始まります。

リカバリが終了すると「マスタートイメージのリストアが正常に終了しました。」と表示されます。

9 CD-ROM とフロッピーディスクを取り出してから、本ワークステーションの電源を切ります。

10 再度本ワークステーションの電源を入れ、以降、Windows NT のセットアップを行ってください(→ P.4)。

■2GBを超える区画にリカバリを行う場合

✎重要

▶ この作業を行った場合、ハードディスクはすべて初期化されます。

1 「リカバリ方法」の手順1～4(→ P.9)までを行います。「Windows NT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

2 【3】キーを押します。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

clearmbr

4 【Y】キーを押します。

5 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

cpart.exe 4096

○POINT

▶ これはCドライブを4GBで作成する例です。

4GB 以外の大ききで作成する場合は、作成したい大ききをMB単位で、数字の部分に指定してください。2GB以下、および4GBを超える区画サイズを指定したときの動作は保証していません。

6 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

本ワークステーションが再起動し、「Windows NT 4.0 リカバリメニュー」が表示されます。

7 【3】キーを押します。

8 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

format c: /u

9 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。

フォーマットが終了すると、「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

10 何も入力しないで【Enter】キーを押します。

11 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

restore

リカバリが実行されます。

12 このあとは、「リカバリ方法」の手順9 (→ P.9) へ進んでください。

リカバリ方法 (Windows 2000 の場合)

Windows 2000 が起動しないなどの問題が発生した場合は、「リカバリ」を実行しハードディスクの内容をご購入時の状態に戻してください。

■ 注意事項

- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- リカバリを行うと、C ドライブは FAT32 に設定されます。C ドライブを NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度 NTFS に変換してください (→『ソフトウェアガイド』参照)。
- オプションを取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。

■ リカバリ方法

次のものを用意してください。

- 「リカバリ CD-ROM」

1 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します (→ P.8)。

BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

2 BIOS の設定を変更します。

- [C440] [C640]
[Main]-[Boot Option]-[Boot Sequence:1] に「ATAPI CD-ROM」を設定します。
- [C650]
[Boot Options]-[First Boot Device:] に「CD-ROM」を設定します。

3 「リカバリ CD-ROM 1 枚目」をセットします。

4 本ワークステーションを再起動します。

5 「Windows 2000 リカバリメニュー」が表示されたら、【1】キーを押します。

「ハードディスクの内容を全て初期化します。」と表示されます。

6 メッセージをよく読み、何かキーを押します。

本ワークステーションが再起動し、C ドライブがフォーマットされます。フォーマット終了後、「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM 1 枚目」をセットし、しばらくしたら「Y」キーを押してください。」と表示されます。

7 「リカバリ CD-ROM 1 枚目」がセットされていることを確認し、アクセスランプが消えたら【Y】キーを押します。あとは、メッセージに従って操作します。

途中で、「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM 2 枚目」をセットし、しばらくしたら「Y」キーを押してください。」と表示されます。

8 「リカバリ CD-ROM 2 枚目」に入れ替えて、アクセスランプが消えたら【Y】キーを押します。

あとは、メッセージに従って操作します。リカバリが終了すると「マスタイメージのリストアが正常に終了しました。」と表示されます。

9 CD-ROM を取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。

10 以降、Windows 2000 のセットアップを行ってください (→ P.6)。

11 再起動後、BIOS の設定をご購入時の設定に戻してください。

✎ 重要

- ▶ セットアップ終了後、再起動時に「ディスクの挿入」ダイアログが表示されることがあります。この場合、[キャンセル] をクリックしてください。
- ▶ グラフィックスカードに「Millennium G400 (Dual-Head 含む)」を搭載している場合は、リカバリ終了後、手動でディスプレイドライバをインストールする必要があります。ディスプレイドライバのインストールについては、「マニュアル CD-ROM」内のソフトウェアガイド「Windows 2000 用」の「ディスプレイドライバのインストール (Matrox Millennium G400 Driver の場合)」を参照してください。
- ▶ リカバリ後に CD-ROM ドライブのドライブレターが消えることがあります。この場合は「マニュアル CD-ROM」内の「ソフトウェアガイド Windows 2000 用」の「第 4 章 困ったときに」の「トラブルシューティング」を参照し、ドライブレターを設定しなおしてください。

BIOS メッセージ

起動時に BIOS メッセージが表示されたときは、「ハードウェアガイド」を参照してください。

仕様

■本体仕様

		CELSIUS 440	CELSIUS 640	CELSIUS 650
CPU		Pentium® III 733MHz/800EBMHz/866/933MHz		
CPU 数		1	1 ~ 2	
システムバスクロック		133MHz		
一次キャッシュ		32KB (CPU 内部)		
二次キャッシュ		256KB (CPU 内部)		
BIOS ROM		512KB (フラッシュ ROM)		1024KB (フラッシュ ROM)
メインメモリ※1	標準容量	128MB/256MB		256MB (128MB × 2) / 512MB (256MB × 2)
	最大容量	最大 1GB		最大 2GB
	メモリ種類	RDRAM (ECC 対応、SPD 付、PC800)		
内蔵フロッピーディスク		3.5 インチ × 1 : 1.44MB/720KB (2 モード)		
内蔵 SuperDisk※1		3.5 インチ × 1 : 120MB/1.44MB/720KB		—
内蔵ハードディスク※1		13.6GB (Ultra DMA/66) / 9.1GB、18.2GB (Ultra2 Wide SCSI、U160 SCSI)		
内蔵 CD-ROM		最大 48 倍速 : ATAPI		
内蔵 DVD-ROM※1		最大 12 倍速 (DVD-ROM) / 最大 40 倍速 (CD-ROM) : ATAPI		
インタフェース	キーボード/マウス	PS/2 タイプ : ミニ DIN 6 ピン × 2		
	サウンド	ライン入力 : φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック × 1 ライン出力 : φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック × 1 マイク入力 : φ 3.5mm モノラル・ミニジャック × 1		
	LAN	10BASE-T/100BASE-TX : RJ45 × 1		
	SCSI※1	(内部) 68 ピン (LVD/SE) × 1 68 ピン (SE) × 1 / 50 ピン (SE) × 1 (外部※4) 68 ピン (LVD/SE) × 1		
	シリアルポート	RS-232C : D-SUB 9 ピン × 1		
	パラレルポート	セントロニクス準拠 / ECP / EPP 対応 : D-SUB 25 ピン × 1		
	USB ポート	USB コネクタ : 4 ピン × 2 (Windows NT4.0 では未サポート)		
拡張スロット数※2		AGP × 1 PCI × 5		
拡張ベイ [空き※3]		3.5 インチ FDD ベイ × 1 [0] 3.5 インチ HDD ベイ × 2 [1] 5 インチベイ × 3 [2]		
外形寸法 W × D × H (mm)		207 × 497 × 441		
質量		14Kg		
使用環境	温度	動作時 : 10 ~ 35℃ 休止時 : 0 ~ 50℃		
	湿度	動作時 : 20 ~ 80% 休止時 : 8 ~ 80%		
電源	入力電源/周波数	AC100V、50/60Hz		
	入力コンセント	平行 2P アース付		
最大消費電力		200W		340W

※1 : カスタムメイドオプション

※2 : 拡張スロットの使用状況は「■拡張スロットの使用状況」を参照

※3 : 3.5 インチ FDD ベイは内蔵フロッピーディスクまたは内蔵 SuperDisk を搭載済

3.5 インチ HDD ベイは内蔵ハードディスクで 1 つ搭載済

なお、SCSI ハードディスクは 3.5 インチ HDD ベイへ増設不可

5 インチベイは内蔵 CD-ROM または内蔵 DVD-ROM で 1 つ搭載済

※4 : 内蔵ハードディスクユニット交換機構選択時、外部コネクタは未サポート

■ビデオカード仕様

Millennium G400 搭載モデル	VGA/SVGA 最大 2048 × 1536 ドット／最大 1677 万色 ビデオメモリ 16MB
Millennium G400 DH 搭載モデル	VGA/SVGA メインディスプレイ：最大 2048 × 1536 ドット／最大 1677 万色 セカンダリディスプレイ：最大 1280 × 1024 ドット／最大 1677 万色 ビデオメモリ 32MB
CELSIUS Synergy II 搭載モデル	VGA/SVGA 最大 1920 × 1200 ドット／最大 1677 万色 ビデオメモリ 32MB
CELSIUS GL1 搭載モデル	VGA/SVGA 最大 1920 × 1200 ドット／最大 1677 万色 ビデオメモリ 32MB
CELSIUS Wildcat4110 モデル	VGA/SVGA 最大 2048 × 1152 ドット／最大 1677 万色 ビデオメモリ 64MB / テクスチャメモリ 64MB

■拡張スロット使用状況

	基本モデル	カスタムメイドオプションで SCSI ハードディスク 選択時
Millennium G400 搭載モデル Millennium G400 DH 搭載モデル CELSIUS Synergy II 搭載モデル CELSIUS GL1 搭載モデル	AGP	AGP PCI3 (SCSI カード)
CELSIUS Wildcat4110 搭載モデル	AGP PCI5 使用不可	AGP PCI5 使用不可 PCI3 (SCSI カード)

POINT

- ▶ 本製品の仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 を、Windows NT 4.0 または Windows NT と表記しています。
 Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System を、Windows 2000 と表記しています。
 Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
 その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright® 富士通株式会社 2000

このマニュアルは再生紙を使用しています。

Ⓔ 0008-1